

資源集団回収の奨励金申請がオンラインでも可能になりました！

横浜市では、今年の4月回収分から資源集団回収の奨励金の申請が従来の紙による申請のほかに、パソコンや携帯電話によるオンラインでもできるようになりました。

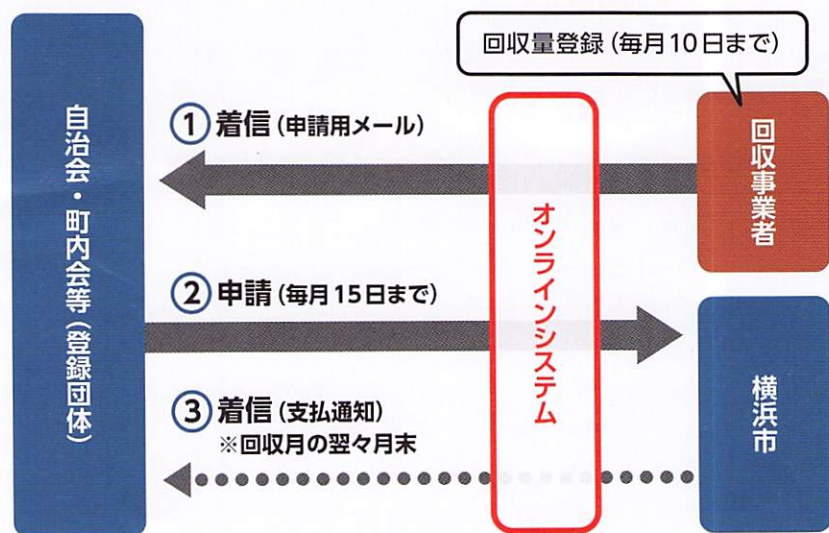
オンライン申請の方法は、あらかじめ「資源集団回収オンラインシステム」にログインしてメールアドレスを登録しておきます。すると、①毎月10日までに回収業者が入力した回収量の確認依頼メール(申請用メール)が届きます。②このメールに記載されているリンクから回収量を確認したうえで、15日までに「申請ボタン」をクリック(スマホ・タブレットの場合はタップ)すれば申請は完了です。③回収月の翌々月(申請月の翌々月)末に指定口座に奨励金が振り込まれ、同時にオンラインシステムから「支払通知メール」が届きます。

申請用のメールアドレスは3つまで登録可能で、いずれかの1つで申請すれば申請手続きは完了となります。また、メールアドレスの登録のほかに、代表者や担当者の変更手続きなどもオンラインでできます。従来の紙による申請に比べて手続きがとても簡単になるので、ぜひ積極的に活用してください。

■ オンラインの申請画面



■ オンライン申請の流れ



■ 申請から支払いまでのスケジュール



資源リサイクルの最新情報が学べる リサイクル組合のおススメ見学施設

資源リサイクル事業者の職場を見学することで環境問題や資源リサイクルの現状について学ぶことが可能です。さまざまな分野の事業者の最前線の取り組みや実情に触れることで、資源リサイクルをより身近に、リアルに感じられるようになるはずです。そこで今回は、夏休みに家族で見学するのにオススメの施設をご紹介します。

取材協力：有限会社マルニ商店、ナカノ株式会社、横浜環境保全株式会社、横浜市資源循環局

自分の眼で見ることで 初めてわかることがある

横浜市には、資源リサイクルを行うさまざまな施設があります。古紙や古布、缶・びん・ペットボトル、プラスチック製容器包装、金属、産業廃棄物など、それぞれの資源を専門に扱う施設があり、その設備や作業内容には独特のものがあります。皆さんが資源集団回収に出した資源物がどのようにリサイクルされているのか、その場に立ち合い、自分の眼で見ることで初めてわかることもたくさんあります。雑誌の写真やネットの動画では、現場のリアルな臭いは伝わりませんし、特殊な機器の優れた性能や現場で働く人の職人ワザなどにも目を瞠るものがあると思います。

今回は、そんなリサイクルの現場の最前線の様子を見学し、学ぶことができるおススメする施設をご紹介します。社会見学としてご家族で楽しんだり、お子さまの夏休みの自由研究のひとつとして参加するなど、気軽に施設見学をご利用ください。

■ナカノ株式会社

古布

ナカノ株式会社は繊維のリサイクルを始めて今年で90周年を迎える歴史ある企業です。

秦野工場は普段皆様が資源回収に出されている古着が、実際にどのように選別されてリサイクルされているかを見学できる唯一の工場です。選別された古着は海外各国へ行き、ウエスなども日本の至る所で使われています。古着が車製造にも関りがあるなど、見学することで今までにない色々な知識を得ることができます。

見学内容・申し込み

- 見学内容／施設内の見学。回収後の古着の行方、古着のリサイクルについての説明。
- 申し込み／お電話にてお申し込みください。
- 注意事項／資料代として1人110円(税込)。資料とよみがえり手袋贈呈。見学日時は電話にて要相談。人数は最大20名まで。公共交通機関推奨。車は1台だけなら駐車可能。
- 問い合わせ／ナカノ株式会社 秦野工場
秦野市戸川467-2 TEL:0463-75-0564



■有限会社マルニ商店

びん

1930年の創立以来、ガラスびんのリサイクル事業に特化して事業を行ってきた企業です。金沢事業所には、横浜市をはじめ、関東近県からたくさんのガラスびんが集められています。それぞれのガラスびんが色選別され、次のリサイクル工程へ運ばれていく様子を見学することができます。



見学内容・申し込み

- 見学内容／ガラスびんの選別作業の様子を見学。ガラスびんをはじめとする資源物リサイクルとSDGsに関する講座。質疑応答。
- 申し込み／見学は随時受付しています。有限会社マルニ商店本社までお電話・メールにてご連絡ください。
- 注意事項／見学場所は弊社金沢事業所(横浜市金沢区福浦1-15-3)となります。
- 問い合わせ／有限会社マルニ商店
TEL: 045-311-5648 E-mail: maruni@ceres.ocn.ne.jp

■横浜環境保全株式会社

産業廃棄物

横浜市の一般廃棄物許可業者第1号として許可番号：1001を取得し、その後、生ごみの堆肥化施設を通して食品ループを構築。一昨年には缶・びん・ペットボトルリサイクル工場(金沢リサイクルライン)をリニューアルし、地球の健康に貢献すべくリサイクル事業に取り組んでいます。また、デザインパッカー車というカラフルなゴミ収集車両を展開しています。



見学内容・申し込み

- 見学内容／生ごみ堆肥化施設、缶・びん・ペットボトルリサイクル工場、発泡スチロール溶融施設、各リサイクル施設の見学。横浜環境保全株式会社のCSR取組のご紹介。デザインパッカー車の見学。質疑応答
- 申し込み／見学場所は横浜市金沢区鳥浜町2-17から各施設。申込みは随時受付。
- 問い合わせ／横浜環境保全株式会社
CSR係：荒川・岡田／リサイクル推進室：津久田
TEL: 0120-53-6680 E-mail: info@y-kankyo.co.jp

■リサイクルポート山ノ内

古紙・古布

リサイクルポート山ノ内は、リサイクル組合が運営する古紙と古布の中間処理施設です。資源集団回収で集められた古紙から混入した異物を取り除き、新聞や雑誌、段ボールなどの種類ごとに選別して、高品質な資源製品にしています。施設内には、トラックごと重さを計測する大型計量器や、古紙を巨大な塊に圧縮梱包するジャンボプレス機などがあります。



見学内容・申し込み

- 見学内容／第1部「施設内の見学・解説」 第2部「リサイクルに関する講座」
- 申し込み／見学申込書に記入のうえ、リサイクル組合事務局に連絡してください。詳しくはホームページをご覧ください。
- 注意事項／見学は平日の火・木曜日(10時～17時)。人数は10～40名まで
- 問い合わせ／横浜市資源リサイクル事業協同組合 横浜市神奈川区山内町13番地
TEL: 045-444-2531 FAX: 045-444-2532
E-mail: mail@recycledesign.or.jp

■資源選別センター

缶・びん・ペットボトル

横浜市が運営する資源選別センターは、市内に4施設あります。ここでは分別収集で回収した「缶・びん・ペットボトル」の資源化をしています。混在している缶・びん・ペットボトルを、缶はアルミ缶とスチール缶に、びんは色ごと(茶色・白・その他)に選別します。また、ペットボトルは、PETマークのあるボトルを選別しています。



緑資源選別センター

見学内容・申し込み

- 見学内容
ビデオによる概要説明。リサイクルの流れ。施設内見学。排出時の注意点や分別の重要性などの説明
- 申し込み
「施設見学申込書」に記入し、各施設にFAXするか、電話で必要事項を連絡してください。詳しくはホームページをご覧ください。
- 問い合わせ
 - ・緑資源選別センター 横浜市緑区上山1-3-1
TEL: 045-935-0098 FAX: 045-933-9161
 - ・戸塚資源選別センター
横浜市戸塚区上矢部町1921-12
TEL: 045-813-7174 FAX: 045-813-8483
 - ・鶴見資源化センター 横浜市鶴見区末広町1-15-1
TEL: 045-503-0091 FAX: 045-503-0160
 - ・金沢資源選別センター 横浜市金沢区幸浦2-7-1
TEL: 045-785-6802 FAX: 045-785-6829



新商品 ダブルトイレットペーパー「りくみのダブル」

4年ぶりにりくみちゃんがデザインされたパッケージ商品が復活しました。その名も「りくみのダブル」です。再生紙100%のダブルトイレットペーパーで、芯あり、長さ60m、1ケースに48ロール入りとなっています。しっかりとした触り心地で、ぎゅっと巻かれていて長持ちします。

このトイレットペーパーの見どころは可愛らしいりくみちゃんのパッケージです。段ボールにも、中のパックにもりくみちゃんがデザインされていて、にっこりとお出迎えしてくれます。ぜひこの機会に普段使いに、ご贈答用に、備蓄品に、「りくみのダブル」をお試しください。



1ケース 3,980円
(6ロール入り×8・48ロール)

横浜リユースびんプロジェクトがハマトラFESに出展

5月11日(土)、12日(日)に開催された2024ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会の同日に、象の鼻パークで開催された「横浜トライアスロンフェスティバル」(通称ハマトラFES)に、横浜リユースびんプロジェクトが出展しました。会場にはトライアスロンの選手たちの様子が中継されている巨大モニターが設置され、競技終了後は様々なステージイベントが行われました。両日とも天候に恵まれ、多くの来場客に足を運んでいただきました。

プロジェクトでは昨年に引き続き「まじめにしぼってみました トマトです」「まじめにしぼってみました みかんです」「Hands to Hands レモネードサイダー」の3種類を販売。ブースを訪れたお客様にリユースびんや地産地消のジュースについて説明し、びんの返却の協力を呼びかけながら販売を行いました。合計100本以上が売れ、ほとんどが返却されました。多くの方にリユースびんとジュースの美味しさ、私たちのプロジェクトのことを知っていただく良い機会となりました。



リサイクル組合員のおススメ!

うちの地元の名物紹介

横浜市区

讃岐うどん なかだや

「讃岐うどん なかだや」は、NPO法人なかだが運営する就労支援の場でもあるうどん屋です。厨房で働くスタッフは障害のある皆さん。その生き生きとした働きぶりを見るだけで元気になるります。リーズナブルでおいしいところが魅力で、写真の週替わりのうどんランチはコシのある麺とどんぶりのセットが700円。なかには300円台のメニューもあり、お財布にとってもやさしいお店です。日哲商事 高田会長(写真右)も「うまいし、なにより応援したくなるお店なんだよ!」と大絶賛。ぜひご賞味ください。



株式会社日哲商事(横浜市区)
廃棄物収集運搬、中間処理から多様な資源物のリサイクルまで手がける。高田会長は、リサイクル組合の第3代理事長経験者でもあり、熱意あふれる人柄とともに、「世のため人のために貢献できることをやろう」というホスピタリティが印象的な方です。

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

